

なぜか と 考 え る

口腔外科

疾患の成り立ちと治療への手がかり

奥村一彦 著

北海道医療大学歯学部 准教授
(生体機能・病態学系組織再建口腔外科学分野)

いま、「考える」治療が求められている

患者さんを前に、いかに診断し、適切な治療に導くか。本書では、口腔外科領域でみられる疾患を取り上げ、その歴史的背景、術式の変遷などをたどりながら、診断や治療の手がかりとなる知識やエピソードを集め、わかりやすく解説している。疾患のルーツから治療法の確立までが、多くの文献により学べ、どれもが臨床に直結した内容であるため、若手・ベテランを問わず、ぜひとも読んでおきたい一冊である。

Contents

- CHAPTER 1 「口腔診断学的重要性」
- CHAPTER 2 「万病の元になる」炎症性疾患
- CHAPTER 3 「全身疾患を映しだす鏡」口腔粘膜疾患
- CHAPTER 4 「舌下ヒダ三題噺」口底部に腫脹をきたす疾患
- CHAPTER 5 「舌の根も乾かぬうちに」口腔乾燥症
- CHAPTER 6 「握り寿司は食べたし」顎関節症
- CHAPTER 7 「口唇の緩みから生まれた疾患」下顎前突症
- CHAPTER 8 「口腔外科の王道」歯の抜去術



●サイズ:A5判 ●228ページ ●定価 本体7,800円(税別)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp



「臨床力」を高めるエピソードが満載!

目次より抜粋

CHAPTER 1 「口腔診断学の重要性」

「正しい診断をください」その技能と実践

- ・なぜいま考えて診療しなければいけないのか?

CHAPTER 2 「万病の元になる」炎症性疾患

「身近な疾患」炎症のメカニズム

- ・炎症の5徴候 ・勇敢な戦士:好中球を呼び寄せる三種の神器
- ・好中球のおかげで炎症が収束する訳は?

「良きにつけ悪しきにつけ」目立ってしまう炎症

- ・肥満は脂肪組織で炎症が起きている
- ・動脈硬化と心血管障害への道筋
- ・血糖の上昇が血管を傷つける:糖尿病

「歯が原因で生じる」歯性感染症

- ・生きるためには外界との交流が必要
- ・頭頸部感染症の原因のほとんどは「歯」
- ・歯性感染症の原因は口腔内の常在菌

「炎症の広がり方」その法則性と末路

- ・顎骨構造によって疾患の頻度に差が出る
- ・智歯周囲炎:重篤な症状をきたす引き金
- ・蜂窩織炎:膿がでせずに急速に炎症が拡大する
- ・口底蜂窩織炎をめぐるルートヴィッヒの輝かしい業績と悲劇

「膿瘍の切開法」嫌気性感染症であるがために必要不可欠な技

- ・切開のコツ ・膿瘍の存在部位によって切開線の設定が違う



CHAPTER 3 「全身疾患を映し出す鏡」口腔粘膜疾患

「総論」粘膜はからだの危険情報の発信基地

- ・口腔粘膜の構造を知る:疾患の成り立ちを見極める基本
- ・紅と白が基調色:口腔粘膜疾患でみられる症状

「各論」よくみられる疾患/注意を要する疾患

- ・再発性アフタ性口内炎 ・ペーチェット病
- ・口腔扁平苔癬 ・口腔カンジダ症
- ・白板症と紅板症 ・口腔粘膜の水疱性疾患
- ・多形性紅斑



CHAPTER 4 「舌下ヒダ三題噺」口底部に腫脹をきたす疾患

「口底の焼き餃子」舌下ヒダ

- ・舌下腺の局所解剖

「多種多様な治療法がある」ガマ腫

- ・ガーゼで梱包した開窓術 ・OK-432を用いた治療法
- ・排出糸による微小開窓術

「唾液分泌を障害する」唾石症

- ・唾石の好発部位
- ・唾石の摘出術:口腔内か? 顎下腺摘出か?

「真綿で首を絞めるがん」腺様嚢胞がん

- ・名前は変遷する? ・もっとも効果的な治療法は?



CHAPTER 5 「舌の根も乾かぬうちに」口腔乾燥症

「口の健康が維持できる」唾液の存在

- ・唾液腺の生理機能 ・唾液の組成とその働き

「唾液も枯れる」口が渇く理由

- ・口が渇く理由①:口腔乾燥症(ドライマウス)
- ・口が渇く理由②:唾液腺機能減退

「薬剤で誘発される」口腔乾燥症

- ・口腔乾燥症への対処法



CHAPTER 6 「握り寿司は食べたし」顎関節症

「一口では食べられない」開口障害

- ・健常人でもみられる症状
- ・3本指が指標となる開口障害の有無

「魚のエラから生まれ出た」顎関節のあゆみ

- ・食性の違いによる顎関節の変化
- ・ヒト顎関節の加齢変化と顎関節疾患の頻度

「発症を決定づけるものは?」咬合高径との関係

- ・咬合高径を高くすると顎関節症になるのか?
- ・咬合高径を低くすると顎関節症になるのか?

「治療結果を検証する」スプリントの有効性

- ・顎関節症の治療にスプリントは有効か?

「注目される因子」歯列接触癖

- ・顎関節症と習癖行動
- ・TCHを見つける方法



CHAPTER 7 「口唇の緩みから生まれた疾患」下顎前突症

「発症傾向を知る」考えられるいくつかの要因

- ・ハプスブルグの顎が王朝の消滅につながった
- ・下顎前突症はなぜ生じるか?

「先駆者たちの功績」外科的治療の変遷

- ・19世紀に新大陸アメリカの地で手術が始まった
- ・20世紀は新大陸アメリカからヨーロッパへ
- ・顎顔面外科から頭蓋顔面外科へ

「正しい姿勢で、噛んで、飲む」不正咬合の予防

- ・授乳期の乳児嚙下はなぜ大切か?
- ・噛み込むために必要な筋肉



CHAPTER 8 「口腔外科の王道」歯の抜去術

「手術手技の基本となる」下顎埋伏智歯抜去術

- ・術後の神経麻痺について
- ・術後神経麻痺の回避に向けて

「君子危うきに近寄らず」歯冠部切除術

- ・下顎埋伏智歯抜去後の神経損傷の回避
- ・歯冠部切除術:意図的歯根残存の術



きりとり線

注文書

なぜかと考える口腔外科 疾患の成り立ちと治療への手がかかり

冊注文します。

モリタ商品コード:805720

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	
		支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送りさせていただきます。